

書窓

Shoso

No.447

2022.8

太子町立図書館 編集発行

〒671-1561
兵庫県揖保郡太子町鰯
1310 番地 7

Tel (079)277-1580
Fax(079)277-5684

子どもの本だな 105

このページは子どもたちにすすめたい本をとりあげています。本を選ぶときの参考にしてください。

長くつをはいたネコ

ペロー 作 マーシャ・ブラウン 絵
光吉 夏弥 訳 (岩波書店)

ひとりの粉屋が、水車小屋とロバとネコを遺して亡くなりました。末息子の分け前はネコだけ。がっかりする息子に、ネコは長くつと袋を用意してくれと頼みます。ネコは長くつをはき、袋をもって出かけ、獲物を捕まえては「主人のカラバ侯爵から」と言って王様に届けました。

ある日、王様とお姫様が馬車で出かけるのを知ったネコは、末息子を川に入らせ「主人がおぼれそうだ」と助けを求めます。川から引きあげられた息子は、王様の立派な衣装をもらい、馬車で一緒に出かけました。ネコは先回りをして、人食い鬼の牧場や麦畑をカラバ侯爵のものだとお百姓たちに言わせ、人食い鬼の城で鬼を退治して、一行を出迎えました。

利口ですばしこく、知恵を働かせて末息子を幸せにするネコに感心します。柔らかい色使いながら動きのある絵が、登場人物を表情豊かに描いています。読んでもらえば5歳くらいから。(池田)

太陽の戦士

ローズマリ・サトクリフ 作
猪熊 葉子 訳 (岩波書店)

少年ドレムは、戦士になるつもりでしたが、右腕が利かない者は戦士になれないという祖父の心無い言葉に、家をとび出しました。片腕の戦士タロアに、左腕で槍を使いこなせと励まされ、練習に打ち込み腕前を上げていきました。12歳になると少年たちの戦士になる訓練が始まります。一人前になるためには3年後にオオカミをひとりで倒さなければならないのですが、この試練に失敗したドレムは、部族を追われ、羊飼いと暮らすことになりました。そして、ある吹雪の夜、老羊飼いを探しに行ったドレムは、見覚えのあるオオカミに出会いました…。

青銅器時代のブリテンを舞台に、1人の少年の成長していく姿が丁寧に描かれています。仲間とのかかわり、争い、その中から生まれる友情、挫折と立ち上がる姿。今に生きる私たちとも共通するものが多くあり、心を揺さぶられる物語です。中学生から。(西村)

8月の開館日

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

9月の開館日

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

<お知らせ>

夏休み特別 おはなしの夕べ

夏休みの夕方、ろうそくの灯をともした部屋で、おはなしを聞いてみませんか。「アリューヌシカとイワヌシカ」「アナンシと五」「たぬきと山伏」などを予定しています。

◆日時: 8月19日(金)

- ①4歳以上～大人 18:00～
- ②小学高学年～大人 18:30～

◆申込: 太子町立図書館

※要申込。定員になり次第締切。
※途中からは入れませんので、時間までにお越しください。

※8月の定例の「絵本の時間」
「おはなしの時間」はお休みです。

▶×印は休館日 ※閉館時は返却ポストをご利用ください。
(8/12、9/21、26は祝日の振替、8/31は館内整理、9/28～10/3は特別館内整理)
▶開館時間は10:00～18:00、金曜日は20:00まで開館

『陰謀論入門 誰が、なぜ信じるのか?』 ジョゼフ・E・ユージンスキ 著

北村 京子 訳 作品社 246 頁 2022 年 5 月刊 2,400 円 (請求記号)361.4

ケネディ大統領暗殺事件の黒幕や、トランプ大統領とロシアの共謀など、確証が持てない事柄を事実と信じる人々は、いつの時代にも現れる。本書は、こうした陰謀論について、多くのデータを基に中立的な立場から人が信じる理由や問題を解説している。ニクソン大統領のウォーターゲート事件のように、自らの利益のために権力者が秘密裏に行った公共の利益に反する活動が、真実として証明された時、それらは始めて陰謀と定義される。対して、確固たる証拠が無い状況で、対象に疑いを向けて陰謀と批判する認識を陰謀論と呼び、人々は様々な要因からそれが真実だと信じてしまう。例えば、個人の認知的特性に焦点を当てた時、認知的閉鎖欲求(不確実性に対する不寛容)が強ければ信じる傾向にあることが分かっている。不確実性が我慢できない人間に「単純な解答」と「不確実な状況に対する説明」を提供してくれるためである。

また、社会的・政治的状況に焦点を広げることで見えてくる要因もある。人は自身を取り巻く環境や自らの立ち位置によって意見を形成し、一度固まると外部からの影響をほとんど受けなくなる。次のような研究結果がある。学部生に対して死刑制度の是非に対する架空の研究結果を2種類提示したところ、賛成派も反対派も互いに自らの信念を裏付ける研究結果に対して、精査することなく説得力と証明力があるものと評価した。つまり、人は自分の意見を裏付ける証拠を言葉通りに受け取り、反証となる証拠を批判的に評価する、ということである。この傾向は、例えば支持政党と対立する政党の、根も葉もない噂を積極的に受け入れ流布するといった行動に繋がるのである。

陰謀論は時に人を暴力へと駆り立てる危険があるが、禁止してしまえばウォーターゲート事件のような企みを見逃す可能性も出てくる。私たちが陰謀論や、それを信じる人々と共存してゆくためには、一人ひとりが自身の偏見を自覚し、異なる意見を持つ他者を認められる寛容さを獲得することが重要である。この本を読むことで、少なくとも陰謀論に対する偏見に向き合い、正しい知識を得ることができると感じた。

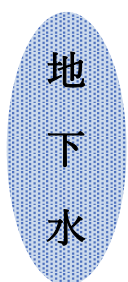
(光藤)

8月	9月	8・9月の移動図書館 (いずれも木曜日です)					
4日	8日	塚森 地域内 10:30~ 10:50	沖代 コミュニティー センター 11:00~ 11:20	福地(三反長) 地域内 14:30~ 14:50	米田 公会堂 15:00~ 15:20	竹広南 公民館 15:30~ 15:50	
18日	15日			原池団地 公民館 15:00~ 15:20	山田 掲示板前 15:30~ 15:50	原 太田東地区 農村交流 センター 16:00~16:20	
25日	22日	広坂 公民館 10:30~ 10:50	上太田 公民館 11:00~ 11:20		太子 ニュータウン 公民館 15:30~ 15:50	吉福 公民館 16:00~ 16:20	

<お知らせ>
13歳からの読書会
『ホビットの冒険』を読んで
(J.R.R.トールキン 作 岩波書店)

- 日時: 8月28日(日) 14:00~15:30
- 場所: 図書館 読書会室
- 対象: 中学生以上 (要申込)
- 準備: 当日までに本を読んできてください。
- 申込: 太子町立図書館

※詳しくは太子町立図書館まで。
または、図書館のホームページをご覧ください。



図書館の本は、主題ごとに分類され書架に並べられている。新しく本が入ってくると、1冊1冊、帯や目次、本文から内容を読み取り、『日本十進分類法』というものを使い分類番号を決めていく。兵庫県の歴史についての本なら、216.4(2)歴史、1日本、6近畿地方、4兵庫県を表す)というように。7月下旬に研修を受けに来られた新任の先生方にも、分類をしてみもらった。料理本をめくり、「苦手なものはありませんか?私はトウモロコシ」「ネギだな」など楽しそうに話しながら作業をしておられた。

ある利用者に『夕暮れに夜明けの歌を』を読んだかと聞かれた。抜群に文章がうまく、詩に対する感性がいらしい。残念ながら、読んだのは分類するときに読んだ数ページ。それほどのものなら、と早速予約を入れた。ロシア留学時の大学生活、友だちや先生、社会のことが、読みやすい文章で書かれている。日本語でもついていくのが大変そうな授業内容、勉強量に驚きつつ、授業に夢中で幸せそうな著者に幸せな気持ちになる。次々に出てくるロシア文学作品も気になった。分類時は、ロシアの社会や文化情勢の302.8に分類したが、読みながら9分類(文学)のほうがよかったのかなとも思い始めた。

(竹内)